

# 第16回 定時株主総会

2016年6月13日

株式会社 ドリームインキュベータ

(証券コード 4310)

The logo consists of the letters 'DI' in a white, serif font, centered within a dark blue square background.

DI

# 2016年3月期 連結P/L

(単位：百万円)	2015年3月期	2016年3月期	増減率
コンサルティング事業（セグメント）	2,504	2,667	7%
インキュベーション事業	10,838	10,024	-8%
（営業投資セグメント	3,671	703	-81%
保険セグメント	6,363	8,126	28%
その他セグメント	803	1,193	49%
売上高合計	13,343	12,691	-5%
コンサルティング事業（セグメント）	1,288	1,439	12%
インキュベーション事業	1,153	208	-82%
（営業投資セグメント	2,577	▲ 148	-
保険セグメント	▲ 1,046	157	-
その他セグメント	▲ 378	199	-
セグメント損益合計	2,442	1,647	-33%
本社費	1,093	1,109	1%
営業利益	1,348	538	-60%
経常利益	1,373	525	-62%
親会社株主に帰属する当期純利益	993	420	-58%

注：金額の表示単位未満は切り捨て。その他セグメントには売却したアセットリクイデーション、知的財産権セグメント含む

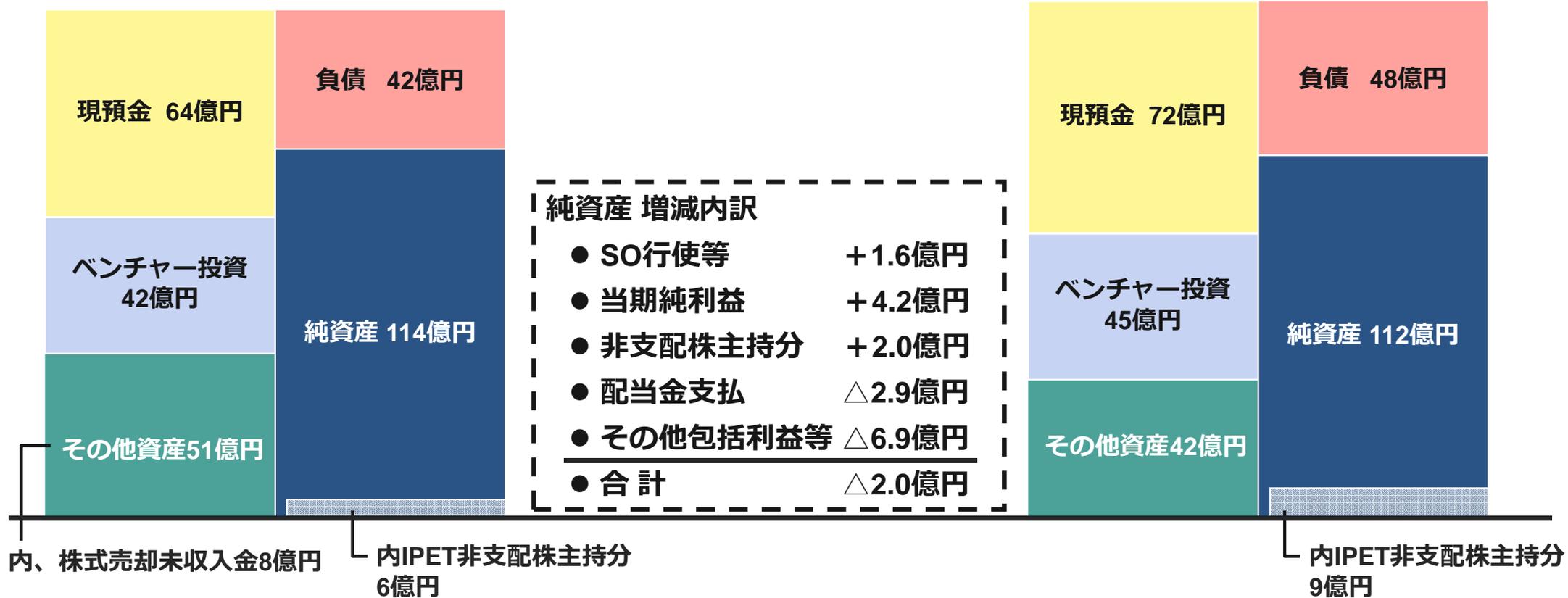
# 2016年3月期 セグメント損益前年対比

(損益額：億円)	2015年3月期	2016年3月期	増減理由
コンサル	12.8	14.3	売上高成長に伴う収益向上 +1.5
営業投資	25.7	▲1.4	2015年3月期：多額の含み益を実現 2016年3月期：2社IPOしたが、他1社が翌期にずれ込む。1社減損 ▲27.2
保険	▲10.4	1.5	2015年3月期：保険業法113条繰延資産13.6億円を一括償却 +12.0
その他	▲3.7	1.9	アセットリクェーション：売却による損失減 2.5億円 知的財産権：売却による増益 3.7億円 マーケティング他：先行投資による費用増 ▲0.5億円 +5.7
合計	24.4	16.4	▲7.9

# 2016年3月期 連結B/S

2015年3月末  
(総資産：157億円)

2016年3月末  
(総資産：161億円)



注： 金額の表示単位未満は切り捨て

# (1) コンサルティング事業

## 戦略コンサル/プロデュース支援

### プロジェクトが大型化・長期化

- 「本丸」プロジェクトの増加

### プロジェクトのグローバル化

- メーカーのシリコンバレー研究所の設立支援
- 海外政府の産業政策立案と実行のプロデュース 等

### 付加価値に「デザイン」を追加

- 株式会社ライトパブリシティと提携
  - 日本初の広告デザイン会社  
代表取締役社長 杉山 恒太郎

## M&A

### クロスボーダーM&Aにおける強みを確立

- 「インド、東南アジア」×「産業財」
- 更に「デジタルメディア」を今後強化

### (前期支援実績)

- 東ソー社
  - 体外診断薬製造販売会社Lilac Medicare社（インド）の買収支援
- 高砂熱学工業社
  - 病院等のクリーンルーム向け関連機器の製造・販売・取付会社  
Integrated Cleanroom Technologies社（インド）の株式取得支援

## 大企業経営者向けセミナー

### 概要

日 時： 2016年 7月 13日（水）

共 催： 日本経済新聞電子版

プログラム：

- 基調講演①：マサチューセッツ工科大学CSAIL所長 Dr. Daniela Rus  
「AI技術の動向と社会への影響」
- 基調講演②：DI 堀 紘一  
「世界の先端技術を自社にどう取り込むか」
- パネルディスカッション：  
「日本企業はAI技術とどうつきあうべきか」  
(パネリスト)
  - 右記3名ほか、海外より見識者を招聘予定
  - DI 山川 隆義(モデレータ)
  - 日本経済新聞社 編集委員 村山 恵一

### パネリスト抜粋



マサチューセッツ  
工科大学 CSAIL所長  
Dr. Daniela Rus



ペンシルベニア大学  
工学・応用科学学部長/  
DI戦略アドバイザー  
Dr. Vijay Kumar

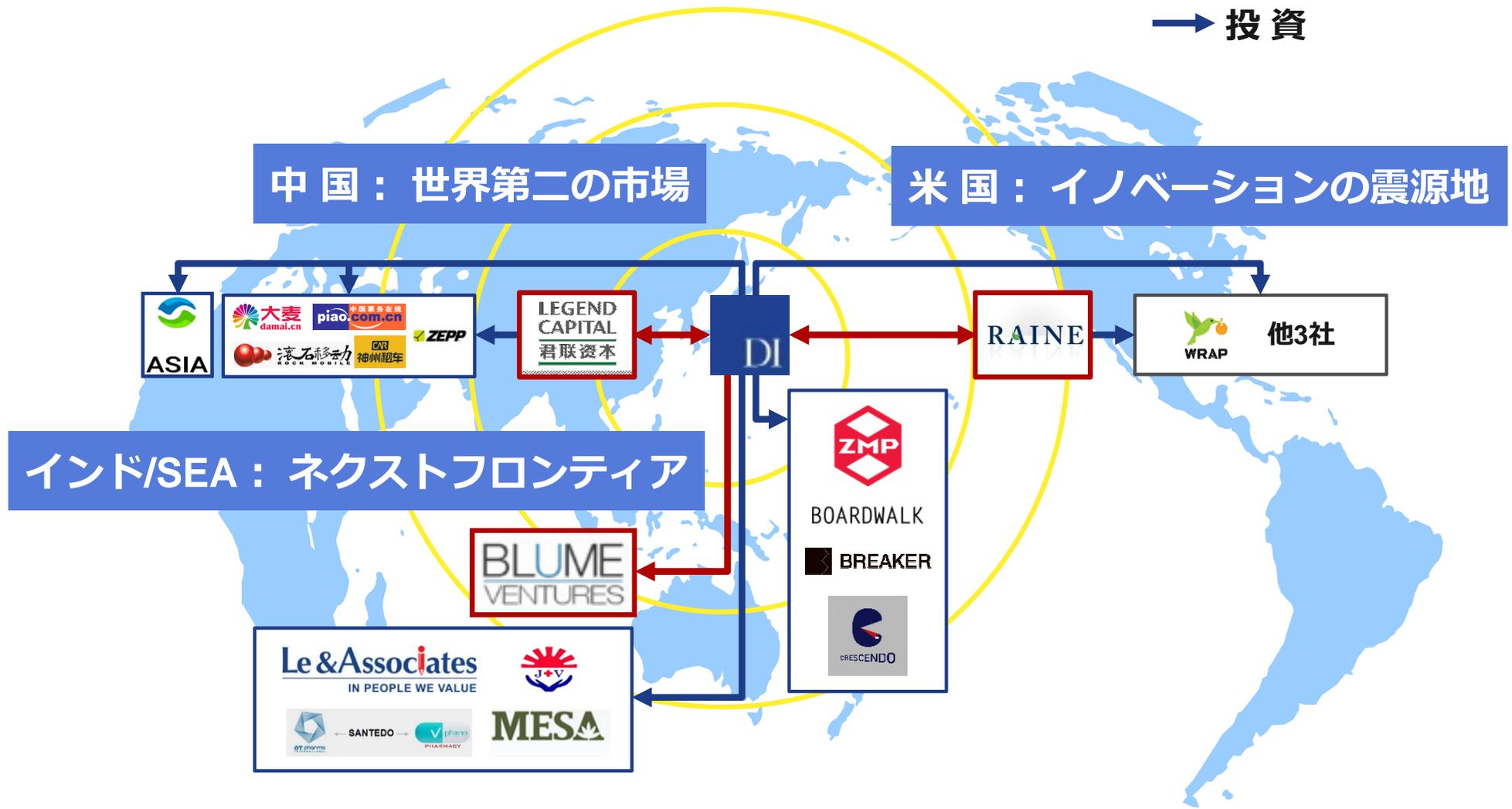


経済産業省  
経済産業政策局  
産業再生課長  
井上 博雄

## (2) インキュベーション事業：① 営業投資

四極展開：日本 + 米国・中国・インド

↔ 戦略的パートナーシップ  
→ 投資



世界のイノベーションを捕捉し、現地有力VCと共同投資育成

## 米国

RAINE

<デジタルメディアに特化したVC>

創業者はメディア専門の投資銀行家



Goldman Sachs  
元上級パートナー



UBS  
元副会長

巨大メディアの創業者達が顧問団を構成



WME-IMG



MTV



Netscape

代表的な投資先 (括弧内は共同投資家)



(KPCB)



(21<sup>st</sup> Century Fox) (Google)



(Goldman Sachs)



(PayPal)



(Andresen Horowitz) (Comcast)



AltSpaceVR



(Yuri Milner)

## 中国

LEGEND  
CAPITAL  
君联资本

<中国の大手民間企業傘下のVC>

創業者はIT業界で約30年の経験を保有



Legend Holdingsの取締役社長、Lenovo Groupの非常勤取締役を兼務



280社超に投資。内、IPO43社+M&A40社

 (0299.HK) 2004/04/30	 (2028.HK) 2005/06/28	 (NASDAQ: SOLF) 2006/12/20	 (NASDAQ: SPRD) 2007/06/27	 (02002.HK) 2007/12/12	 (NYSE: VIT) 2007/12/21	 (0117.HK) 2007/12/21
 (002230.SZ) 2008/05/12	 (002291.SZ) 2009/09/02	 (1965.HK) 2009/09/29	 (NASDAQ: FTNT) 2009/11/19	 (300049.SZ) 2010/01/20	 (002373.SZ) 2010/03/19	 (NASDAQ: AMAP) 2010/07/01
 (NYSE: BITA) 2010/11/17	 (002565.SZ) 2011/03/18	 (NYSE: RENN) 2011/05/04	 (4866.TWO) 2011/09/13	 (002637.SZ) 2011/11/25	 (001336.SS) 2011/11/16	 (03636.HK) 2013/06/13

China Venture 投資年会にて受賞多数

- 最優秀革新投資者
- 最優秀投資業務実行者
- 最優秀Value-added service実行者
- TMT・消費財部最優秀パフォーマンス

## インド

BLUME  
VENTURES

<インド最大手のアーリーステージVC>

創業者はTMT業界で15年超の経験を保有



両名とも、Mumbai Angels (インドのエンジェル投資家ネットワーク) の元メンバー

投資件数は、著名欧米VCを抑えてトップ

India's Most Active Tech VCs Since 2009

Rank	Investor
1	Blume Ventures
2	Accel Partners
3	Sequoia Capital India
4	Intel Capital
5	Helion Venture Partners

(CBInsights)

最近のExit実績

- TaxiForSure : Ola (インド版Uber、SoftBank投資先) に売却
- Zipdial : Twitterに売却
- Framebench : Freshdeskに売却
- 1Click : 同上

# 戦略投資領域 (1/2) : デジタルメディア

スマートフォンが爆発的に普及



全てのものが“つながる”時代に

代表的な投資実績

投資先企業

共同投資家

日本

BOARDWALK



電子チケット

dentsu

docomo

iSiD  
IT Solution Innovator

USA



WRAP



スマートフォン用  
ブラウザ

RAINE

FF Angel LLC

salesforce ventures

ProSiebenSat.1  
Media SE

Transmedia  
Capital

中国



EDA



デジタルコンテンツ  
管理

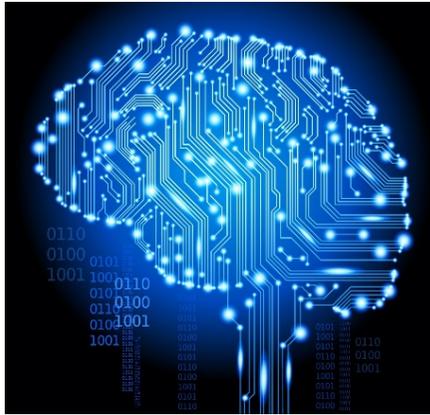
fastforward

D | F | R

著名グローバルVCとの“クラブディール”

# 戦略投資領域 (2/2) : AI・ロボティクス・IoT

AIが人間の機能を代替し、社会に浸透中



この画像は、Shutterstock.comのライセンス許諾により使用しています

代表的な投資実績

投資先企業

共同投資家



ロボット・ロボカー



ZMPと資本提携

日本



AI型機械翻訳

DIがリードインベスター

- 2005年12月に投資  
持株比率7.3%  
(上場承認時)
- 成長戦略を立案し、  
ハンズオンで支援

USA

社名非公開  
(ロボティクス)

シリコンバレーの老舗VC

中国



スポーツIoTデバイス



BERTELSMANN

CHERUBIC VENTURES

今後、グローバルで投資を加速

## (2) インキュベーション事業：②事業投資



(アイペット)

- 業績は堅調に推移
  - 売上高は対前年比28%増加



(DIマーケティング)

- サービス展開を加速
  - 外、インドネシア市場参入
  - オンラインサービス開始
- 1-ダ-数、約50万人



(TGC商標権)

- 株式会社DLEに売却
  - キャピタルゲイン確保



(リバリュー)

- 株式会社オークファンに売却
  - 撤退

振り返り

今期見通し

- 継続成長
- IPOへ向けて準備

- 1-ダ-数、100万人到達
- 調査顧客獲得

-

-

## コンサルティング事業

- 成長率15%程度

## インキュベーション事業

### 保険セグメント

- 継続成長

### その他セグメント

- デジタルマーケティング：  
ユーザー数、100万人到達  
調査顧客の獲得
- その他事業の仕込み

## 営業投資セグメント

- IPOは複数社を見込む

### <売上高>

前期	当期
119億円*	⇒ 130億円

<売上高合計>  
130 + α 億円

### <株式売却>

7億円 ⇒ α 億円

\* 売却したアセットリゲーション、知的財産権セグメント 計11億円を含む

# DIのエコシステム

